

～闘魂記～

「闘魂」…魂をもって闘おうとする気持ち

西東京市立ひばりが丘中学校第1学年

第10号 2026年2月16日(月)

学年目標「けじめ」と「思いやり」

「へこたれず、根気強く！」

2月1日(日)～3日(火)まで2泊3日でスキー移動教室に行ってきました。天候に恵まれ菅平の大自然を全身で感じ、スキーの講習には最高の3日間となりました。その成果もあり、参加した全員が技能を向上させ、スキーの魅力を存分に味わうことができました。

何かを習得するにはそれなりの困難があり、根気が必要となります。途中、嫌になったり、くじけそうになったりすることはよくあることで、ここを乗り越えない限り成長はできません。スキー移動教室では、ほとんどの人たちが初心者ということもあります、特に2日目の午前中が勝負の分かれ目でした。少し「喝(闘魂)！」を入れて臨んだ2日目の午前、へこたれる生徒は一人もいません。各実習班で励まし合いながら、何度も転んでも立ち上がり、困難を乗り越えた2日目の午後には笑顔もたくさん増え、スイスイ滑れるようになりました。

また、「自分たちで決めたきまりを自分たちで守る」ことも大切な取組の1つでした。きまりやマナーを守るとは、簡単に言うと「他者への配慮」をするということです。一人一人が他者への配慮ができる行動ができるからこそ、「安心・安全」が生まれます。さらに自分たちで決めたきまりを守ることとは、単なる規律を守るとは意味合いが違います。自分たちで決めたことを自分たちで主体的に守るからこそ「自律や責任」を養うことができ、実践的な社会生活への準備にも繋がります。社会に出たときに決まりを守ることが当たり前にできるようにするために、集団生活を通してその行動の仕方を学ぶのです。

さて、このスキー移動教室では「学年全体で成長できたところ」と「今後の課題」、両方をみることのできた行事となりました。そんな「成功」もあり、「課題」も新たに確認できた移動教室でしたが、スキー実行委員を中心に生徒たちが主体となって、取り組めた思い出に残る最高の3日間となりました。

最高の天候の中、菅平の自然を全身で浴びてできたスキー実習

